

# BUSINESS REPORT

## 第80期 ビジネスレポート

2018年4月1日から2019年3月31日まで



株式会社 三晃空調

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第80期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の事業報告をお届けいたします。

今後とも株主の皆様から厚いご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 事業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、世界経済の緩やかな回復を背景に、企業の収益が高まり、雇用・所得環境が改善し、所得の増加が消費や投資の拡大につながるという「経済の好循環」が着実に回りつつある状況にありました。一方で、英国のEU離脱交渉の不確実性や米中の貿易摩擦の深刻化、中国経済の成長鈍化など先行きが不透明であり、わが国経済にマイナス影響を及ぼす懸念が強まっている状況にあります。

当建設業界では、公共建設投資は底堅く推移し、民間建設投資については増加傾向にありますが、建設需要の偏在による建設技能

労働者の不足、資機材の需要逼迫や価格上昇により、依然として予断を許さない状況にあります。

このような状況のもと、当期の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

受注工事高は前期比6.7%増の384億62百万円、完成工事高は前期比6.2%増の361億21百万円となり、また次期繰越工事高は前期比7.2%増の348億7百万円となりました。利益面につきましては経常利益は前期比8.8%増の18億27百万円となり、当期純利益は前期比0.5%増の11億57百万円となりました。

区 分	前期繰越工事高	当期受注工事高	当期完成工事高	次期繰越工事高
空調衛生設備工事	32,466 <sup>百万円</sup>	38,462 <sup>百万円</sup>	36,121 <sup>百万円</sup>	34,807 <sup>百万円</sup>

## 会社が対処すべき課題

当社を取巻く事業環境は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を翌年に控え、関連する工事や、大都市圏を中心とした再開発事業等が継続することから、一定の建設需要が期待されるものと思われれます。

その一方で、依然として、現場を担う建設技能労働者の高齢化、若年労働者の減少などの建設業が抱える構造的な課題に対し、将来にわたって担い手を確保していくことが、不可欠であります。

このような当社を取巻く事業環境の中、当社は今後も引き続き、「お客様が注文したくなる会社」を経営の最重要テーマとして掲げ、活況な大都市圏市場への経営資源投入を図ります。また、建設労働

者不足・建設コストの上昇による影響については、ITを活用した業務効率化や柔軟な組織対応により、生産性を向上し、一定以上の品質確保とサービスの向上を図り、お客様の満足度を高め、安定した工事量の確保と利益の確保を目指します。

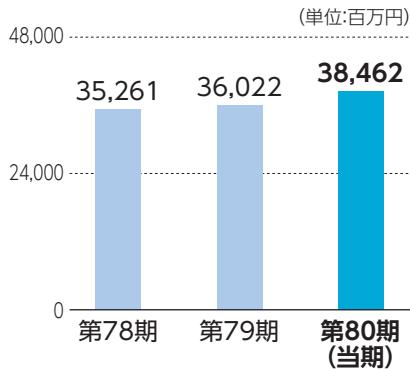
株主の皆様方には今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2019年6月

# 財務ハイライト

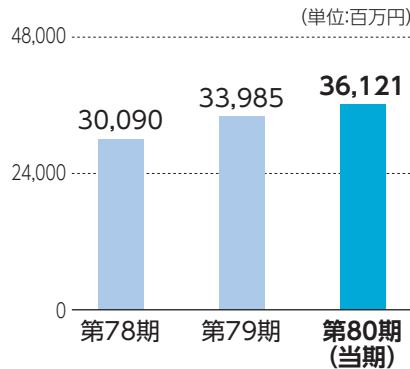
## 受注工事高

**38,462**百万円



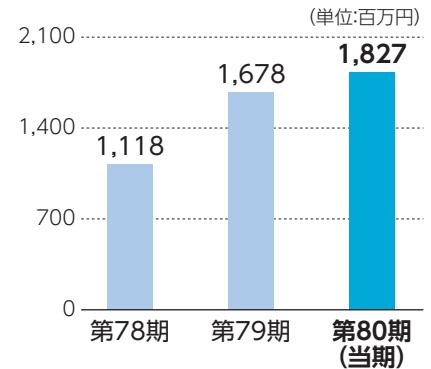
## 完成工事高

**36,121**百万円



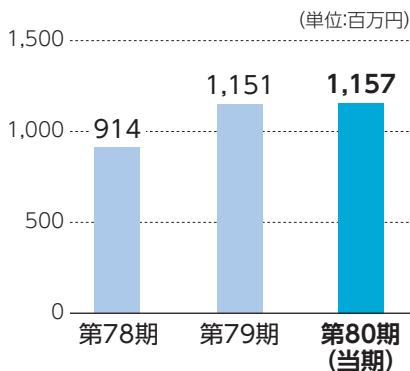
## 経常利益

**1,827**百万円



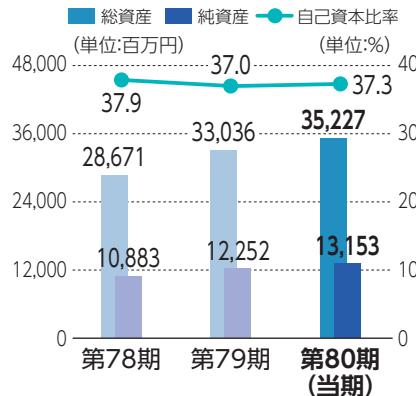
## 当期純利益

**1,157**百万円



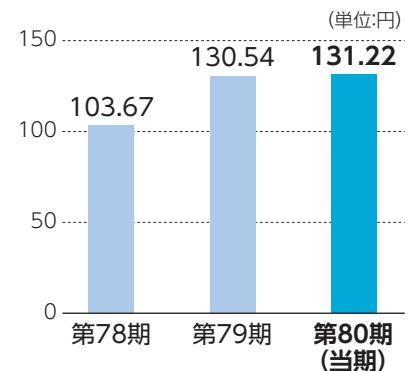
## 総資産・純資産・自己資本比率

総資産 **35,227**百万円  
 純資産 **13,153**百万円  
 自己資本比率 **37.3%**



## 1株当たり当期純利益

**131.22**円



## Topics 1 働き方改革プロジェクトスタート

当社は、2018年4月より主に次の3項目を重点とした11の具体的な施策の働き方改革プロジェクトを開始しました。

- ① 長時間労働を是正し、魅力ある職場環境づくりを行う
- ② 社員一人あたりの生産性を高め、会社の成長に繋げる
- ③ 女性社員のキャリアプラン、長きにわたって働ける

この中から、今期の成果を2つ報告いたします。

### ・現場支援センターによる現場業務分業化

労働時間削減の具体策として、店事務所内で専門的に現場業務を支援する「現場支援センター」を組織いたしました。複数の現場の作業を集約し、専門的に業務を行うことで、作業スキルの向上と、資料・データの再利用度が向上し、作業時間の短縮に繋がっております。

- ・写真やデータの整理に高い習熟度を持った現場支援センター員が、各現場の整理業務を行うことで、作業時間が従来の半分以下になりました。

- ・各現場の施工要領書や計画書などの書類作成を一元化することで、書類のライブラリ化、再利用度が向上し、時間短縮を実現しました。また、諸官庁提出書類の作成スキルがアップすることで、諸官庁との打合もスムーズになりました。

### ・ICTの活用(iPadの導入、図面管理ソフト導入)

技術・工事部門の社員へiPadを配布し、コミュニケーションの円滑化を図りました。また、図面管理ソフト「スパイダープラス」を導入し、図面の共有、現場写真の整理に活用することで、作業効率の向上に繋がっております。

## Topics 2 BIMソフト「Rebro」を当社メインCADへ

当社のメインCADを「Rebro」と位置付けし、三次元設備BIMソフトの活用をさらに推進いたします。

設計では、BIMデータを活用した概算見積によるコストコントロールの強化、施工では、3D-CGの活用による合意形成のスピードアップなど、技術力と業務効率の向上に繋がっております。そして、ベトナム・ホーチミンの図面協力業者との提携により、ベトナムでのRebro作図チームを立ち上げました。若くて優秀なベトナム人技術者を当社が教育することで、人員確保とコスト削減を進めてまいります。その他、計画的なCADソフトの切り替えにより、ソフトウェアライセンスコストの削減を実現しております。

## Topics 3 特殊排水継手「ステップ継手」の製品化

2018年に特許取得いたしました特殊排水継手「ステップ継手」の量産品が完成いたしました。

メーカーへの委託製造及び販売代理店との契約により、製造・販売体制を整えました。今後一般販売を開始し、ステップ継手の普及に努めてまいります。また、当社ASビルのトイレ改修工事においてステップ継手を設置し、性能検証とPRに活用いたします。



### 第80期(2018年度)主な竣工物件



鳥取県立中央病院 (鳥取県鳥取市)



京都経済センター (京都府京都市)



福岡市美術館 (福岡県福岡市)  
撮影者: (株)エスエス上田新一郎



帝國製薬 日本橋本町二丁目ビル  
(東京都中央区)

# 財務諸表

## 貸借対照表(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	24,595,240	流動負債	20,239,371
現金預金	7,279,518	支払手形	3,480,236
受取手形	195,447	工事未払金	11,366,871
電子記録債権	517,797	一年内償還社債	455,000
完成工事未収入金	15,685,635	短期借入金	965,000
未成工事支出金	52,968	未払費用	175,508
立替金	244,078	未払法人税等	707,635
短期貸付金	13,460	未成工事受入金	595,303
未検収消費税等	484,107	預り金	256,341
その他	130,000	賞与引当金	500,000
貸倒引当金	△ 7,773	役員賞与引当金	25,000
固定資産	10,632,540	完成工事補償引当金	27,483
有形固定資産	2,998,712	工事損失引当金	264,400
建物・構築物	846,649	その他	1,420,591
機械・運搬具	12,227	固定負債	1,835,033
工具器具・備品	49,080	社債	680,000
土地	2,072,302	退職給付引当金	726,976
建設仮勘定	6,102	役員退職慰労引当金	57,839
リース資産	12,350	預り保証金	103,112
無形固定資産	62,932	長期リース債務	8,090
電話加入権	22,062	長期繰延税金負債	259,015
ソフトウェア	40,870	<b>負債合計</b>	<b>22,074,404</b>
投資その他の資産	7,570,894	<b>純資産の部</b>	
投資有価証券	5,799,750	株主資本	12,145,379
関係会社株式	188,000	資本金	1,236,176
出資金	5,235	資本剰余金	824,328
長期貸付金	564,117	資本準備金	824,328
長期前払費用	9,471	利益剰余金	10,722,776
長期保証金	169,035	利益準備金	309,044
長期保険積立金	780,343	その他利益剰余金	10,413,732
会員権	144,210	固定資産圧縮積立金	149,513
その他	10,068	別途積立金	6,634,000
貸倒引当金	△ 99,338	繰越利益剰余金	3,630,218
<b>資産合計</b>	<b>35,227,780</b>	自己株式	△ 637,901
		評価・換算差額等	1,007,996
		その他有価証券評価差額金	1,007,996
		<b>純資産合計</b>	<b>13,153,375</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>35,227,780</b>

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	金額
完成工事高	36,121,434
完成工事原価	32,287,387
完成工事総利益	3,834,047
販売費及び一般管理費	2,161,040
<b>営業利益</b>	<b>1,673,006</b>
営業外収益	320,446
受取利息及び配当金	110,447
不動産賃貸収益	189,078
その他	20,920
営業外費用	165,987
支払利息	12,038
不動産賃貸費用	127,802
その他	26,147
<b>経常利益</b>	<b>1,827,465</b>
<b>特別利益</b>	<b>7,133</b>
固定資産売却益	7,133
<b>特別損失</b>	<b>19,251</b>
固定資産売却損	7,018
固定資産除却損	2,087
投資有価証券評価損	8,196
会員権貸倒引当金繰入	1,950
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,815,346</b>
法人税、住民税及び事業税	687,197
法人税等調整額	△ 29,678
<b>当期純利益</b>	<b>1,157,827</b>

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本							自己株式	株主資本 合計	評価・換 算差額等 その他有価証 券評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利 益 剰 余 金			利益剰余金 合計				
		資本準備金	利益準備金	固 定 資 産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰 余 金					
当期首残高	1,236,176	824,328	309,044	153,276	6,634,000	2,583,332	9,679,652	△637,901	11,102,256	1,149,971	12,252,227
当期変動額											
固定資産圧縮積立金				△3,762		3,762	—		—		—
剰余金の配当						△114,703	△114,703		△114,703		△114,703
当期純利益						1,157,827	1,157,827		1,157,827		1,157,827
自己株式の取得											
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										△141,975	△141,975
当期変動額合計	—	—	—	△3,762	—	1,046,886	1,043,123	—	1,043,123	△141,975	901,148
当期末残高	1,236,176	824,328	309,044	149,513	6,634,000	3,630,218	10,722,776	△637,901	12,145,379	1,007,996	13,153,375

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式に関する事項

- ①発行可能株式総数 35,600,000 株  
 ②発行済株式の総数 8,823,371 株  
 (自己株式 1,416,629 株を除く)  
 ③株主数 72 名  
 ④大株主 (上位 10 名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
	千株	%
三晃空調従業員持株会	1,219	13.8
齋藤昌宏	642	7.2
齋藤 穎	543	6.1
株式会社ヤマト	440	4.9
新晃工業株式会社	440	4.9
株式会社三井住友銀行	400	4.5
三井住友信託銀行株式会社	400	4.5
住友不動産株式会社	400	4.5
ダイキン工業株式会社	400	4.5
住友電設株式会社	400	4.5

(注)持株比率は、自己株式(1,416,629株)を控除して計算しております。

## 会社の概況 (2019年3月31日現在)

商号 株式会社 三晃空調  
SANKO AIR CONDITIONING CO., LTD.  
創立 1946年1月1日  
設立 1947年2月8日  
資本金 12億3,617万6千円  
建設業許可 国土交通大臣許可 (特-27) 第4662号  
管工事業、機械器具設置工事業、  
消防施設工事業、建築工事業

従業員数 453名

※従業員数には、役員、顧問、嘱託、臨時従業員  
および社外からの出向者を含んでおりません。

ホームページアドレス  
<https://www.sanko-air.co.jp>



## 役員 (2019年6月27日現在)

### 〔取締役および監査役〕

代表取締役会長 齋藤 明  
代表取締役社長 齋藤 昌宏  
常務取締役 山田 隆三  
取締役 久保田重憲  
常勤監査役 常井 孝真  
監査役 木村 泰輔

## 事業所一覧 (2019年6月27日現在)

### 山陰営業所

〒690-0842  
松江市東本町四丁目147番地  
電話 0852-22-3535

### 出雲営業所

### 岡山営業所

### 山口営業所

### 中国支店

〒730-0031  
広島市中区紙屋町一丁目2番22号  
(広島トランヴェールビルディング)  
電話 082-247-4535

### 九州支店

〒812-0025  
福岡市博多区店屋町  
6番18号  
(ランダムスクエア1)  
電話 092-283-7511

### 鹿児島営業所

### 沖縄営業所

### 神戸支店

〒650-0021  
神戸市中央区三宮町  
一丁目5番1号  
(銀泉三宮ビル)  
電話 078-393-5291

### 隠岐出張所

### 和歌山出張所

### 京都支店

〒602-0877  
京都市上京区河原町通  
丸太町上ル榎屋町354の2  
(毎日新聞京都ビル)  
電話 075-213-3801

### 本社

〒530-0047  
大阪市北区西天満  
三丁目13番20号(ASビル)  
電話 06-6363-1671(代)

### 大阪本店

〒530-0047  
大阪市北区西天満  
三丁目13番20号(ASビル)  
電話 06-6363-1371(代)

### 名古屋支店

〒450-0003  
名古屋市中村区名駅南  
二丁目14番19号  
(住友生命名古屋ビル)  
電話 052-581-8571

### 北海道営業所

### 東北支店

〒980-6014  
仙台市青葉区中央四丁目6番1号  
(住友生命仙台中央ビル)  
電話 022-261-3002

### 東京本店

〒163-0713  
東京都新宿区西新宿二丁目7番1号  
(小田急第一生命ビル)  
電話 03-3344-7911(代)

### 横浜営業所

### 静岡営業所

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。